

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団(多治見市豊岡町1丁目55番地)
2. 指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
3. 業務の範囲	(1)笠原体育館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)笠原体育館の利用許可に関すること。 (3)利用料金の徴収に関すること。 (4)スポーツ振興事業の実施に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	(2)適用 当該評価対象年(H30、3年目)、過去2年間(H28、H29)の平均値 ・第1競技場 73.5% 平均値比112.6%＝73.5%÷65.3% ・第2競技場 58.5% 平均値比101.2%＝58.5%÷57.8% ・第3競技場 61.7% 平均値比100.0%＝61.7%÷61.7%	5点		
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比(105%)=利用率(65%)÷過去2年間平均値(62%) (上記(2)適用)	105%以上 5点	※総合体育館第1競技場改修工事の影響(6～3月)あり			
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	・トレーニング講習会 314人 ・健康づくり事業／らくらく筋力アップ運動 217人 ・スポーツ教室／バドミントン教室 37人、バランスボールで体力UP!筋力UP! 103人 ・笠原施設連携地域密着事業／かさばらいこまい祭り「笠っcha♥」240人、お正月フェスティバル 350人 など ※事業詳細は、年次報告書P.359～360参照(事業一覧)	仕様書以上 13点	・第2期多治見市生涯スポーツ推進プランの基本方針、計画に沿った、誰もが気軽にスポーツに親しめるような取組み等が実施されている。 ・受託事業であるスポーツ振興事業と連携し、工夫を凝らしたスポーツ種目を実施したことにより、軽スポーツに興味を持つ多くの参加者が得られた。 ・普段体験したことのないスポーツイベントを企画することにより、スポーツへの興味や参加意欲等生涯スポーツの基礎づくりに貢献している。	13点			
			(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・自由参加型スポーツ体験事業／鉄棒・跳び箱の日 232人、卓球の日 352人 ・子どもの体力づくり教室／跳び箱教室 10人、なわとび教室 14人、マット運動教室 9人、ちびっこくらぶ(リズム・体幹トレーニング) 96人 ・笠原施設連携地域密着事業／キッズサマースクールinかさばら 16人 ・親子参加型スポーツ教室／バランスボール教室 175人、テニボン教室 38人 ・季節に応じた事業／短冊にねがいごとを書こう! 204人 など ※事業詳細は、年次報告書P.359～360参照(事業一覧)	期待以上 13点	・子どもから高齢者、それぞれの年代層の運動ニーズ及び体力的特徴をとらえ、工夫されたスポーツプログラムが展開されている。 ・子どもが苦手意識を持ちやすい鉄棒、跳び箱、なわとび等の教室を通年で開催し、マンツーマンに近い形の丁寧な指導が行われ、参加者から高く評価された。 ・体育館、中央公民館、図書館がそれぞれの特色を活かし連携することで、子どもたちが楽しみながら参加できている。	13点		
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・年次報告書P.344(維持管理業務)※環境衛生管理業務参照 施設・トイレ清掃／毎日、ガラス・窓枠清掃／年2回、床洗浄・ワックス仕上げ／年1回	適正(普通) 2点	適正に実施されている	10点		
②保守・点検	・年次報告書P.344、379(維持管理業務)※設備管理業務、トレーニング機器参照 空調設備点検／年4回、自動扉保守点検／年2回、トレーニング機器保守点検／機器動作:毎日、総合:年2回		適正(普通) 2点			適正に実施されている					
③保安・警備	・年次報告書P.344(維持管理業務)※防災・防犯管理参照 常駐警備／毎日、機械警備／毎日24時間		適正(普通) 2点			適正に実施されている					
④小規模修繕	・年次報告書P.350～351(有償修理の内訳参照) 第2競技場遮光カーテン設置345,600円、トレーニング室機器(ハイプーリー)更新340,200円、トレーニング室壁面鏡232,200円、女子トイレフラッシュバルブ交換135,000円 ほか20件、総額1,965,448円)		適正(普通) 2点			適正に実施されている					
⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	・毎朝、開館前の清掃時に職員全員による館内点検を実施し、月1回の課内会議で情報共有 ・修繕箇所について、緊急性や利便性向上等について公民館と情報を共有し、計画的に修繕を実施		適正(普通) 2点			適正に実施されている					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・市に準じた適切な方法で管理(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている	12点	
			②環境への配慮			・利用の無い競技場内照明について、消灯を徹底 ・更衣室内のシャワーは節水率の高い機器を使用。女子トイレには消音装置を設置、植栽の水やりは雨水タンクの水を使用するなど節水を意識 ・電力使用量を抑えるため、館内照明のLED化を実施し、軽微なものはその都度交換。トイレは消し忘れ防止のため人感センサーを設置	期待以上 3点	適正かつ期待以上に管理されている		
			③バリアフリー			・通路や動線上の空間に車椅子が通れる幅のゆとりを持たせ、すべての施設利用者が円滑かつ快適に利用できるよう配慮 ・動線上から利用しやすい適切な位置に休憩スペースを設けるなど、誰もが利用しやすい空間にしている	期待以上 3点	適正かつ期待以上に管理されている		
			④備品管理			・利用頻度の高い器具は、経年劣化や故障がないか定期的に点検を行い、修繕・更新することにより、利用者の安全を確保。更新の際は、安全性・使いやすさを考慮 ・利用者の要望を確認し、必要に応じて備品を追加購入	適正(普通) 2点	適正に管理されている		
			⑤個人情報保護			・多治見市文化振興事業団「情報セキュリティに関する指針」「個人情報保護に関する基本方針」に基づき情報管理を徹底 ・名簿等個人情報の収集は最小限にとどめ、キャビネット内で適正に保管 ・廃棄文書は、個人情報の取扱いに留意し、裁断または焼却処理を実施	適正(普通) 2点	適正に管理されている		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・熱中症による搬送10名あり。経度の場合は、公民館の空調設備のある部屋と簡易ベッドで応急処置を実施。起き上がれない・意識が朦朧としている等重度と判断した場合は、救急搬送の手配、応急処置を実施 ・猛暑が予想される日は、大会主催者に温度計を貸出し注意喚起 ・職員が救急救命講習を受講し、応急処置の手法を学ぶなど緊急時に備えている	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に管理されている	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入125,235,191円÷支出125,895,093円＝99% ※笠原地区文化体育施設事業としての全体収支	100%未満 3点	収支としては若干のマイナスとなっているものの、適正に経営されている。	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・卓球利用団体から第2競技場への遮光カーテン設置要望を受け、眩しさ軽減に必要と判断し、年度末に取付工事を実施 ・老朽化した備品やトレーニング機器の更新を適宜実施。新しい器具が導入されることで利用者から喜びの声をいただけている。	期待以上 8点	・利用者からの要望に対し、迅速かつ適切に対応できている。 ・利用者のニーズ把握に努め、スポーツや運動が実施しやすい環境整備について、具体的に計画し実施されている。 ・実施事業に対するアンケートが実施されていない。実施事業のアンケートを実施し、今後、事業参加者のニーズを反映した事業展開へ繋げてほしい。	8点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・敷地隣接場所における利用者の喫煙について、近隣住民から煙草の吸殻の苦情⇒館長が謝罪。禁煙表示看板を設置し利用者へ注意喚起。また職員が定期的に巡回を実施 ・たじみ健康マラソン記念品送付に対する参加者家族からの苦情⇒館長が謝罪。相手と話し合い状況を確認後、記念品を速やかに発送することで納得いただき、後日お礼の手紙を受領	苦情なし・適正(普通) 4点	・状況の把握を適切に行い、迅速に対応できている。 ・特にトラブルが生じやすいトレーニング機器に関して、速やかに修繕・更新が実施されている。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・公民館等の文化施設とそれぞれが連携し、諸問題へ対応している ・子どもの基礎体力及び運動能力向上のため、子ども向け教室を通年で実施 ・体育協会加入の各種目団体、スポーツ推進委員、健康づくり推進員等関係機関との連携を意識した事業を展開していく。また、自主事業と受託事業を区別せず、それぞれをリンクさせた広がりのある事業を実施していく	期待以上 14点	・複合施設のメリットを生かした事業が実施され、利用者から好評を得られている。 ・駐車場対策については、3施設が連携、大会主催者へ協力を依頼し、現状における適切な対応ができており、利用者の利便性、快適性が向上した。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類に遅れなく、内容についても適切である	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等特になし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計87点	極めて良好